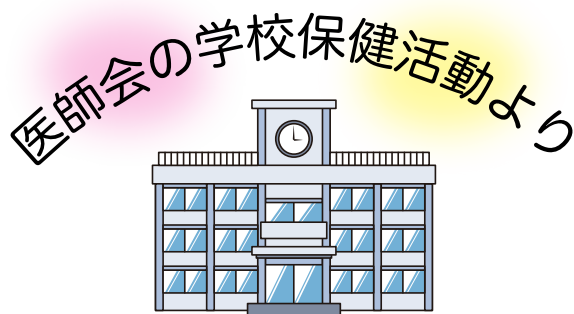


鎌ケ谷市医師会では今年度も学校保健活動として、市内公立小中学校(4校)において次頁の日程でエピペン講習会を実施致しました。鎌ケ谷市では医師会および教育委員会によって食物アレルギー対応マニュアルが作成されていますが、学校管理下でアナフィラキシーが発生することは実際には比較的稀であり、学校教職員の気構えも緩みがちなのは否めないところです。重大な事故は気の緩みからくるhuman errorの連鎖によって生ずることを我々は過去の事例から学んでいます。いざ事が起こってから慌てないよう、事前の想定と準備が重要であることを本講習会において繰り返し伝えてまいりました。今後もアレルギーについての啓蒙ならびに正確な知識と確実な手技の習得を目指して講習会を継続してまいります。エピペントレーナーを使った練習のみならず、薬液が注入される仕組みを知ってもらうために、使用期限の切れた実物、未使用のエピペン(医療廃棄前)を利用し、私の立ち会いのもと、ペットボトルを用いてより実践的な経験を積んでもらっています。



令和4年度エピペン講習会

青い鳥こどもクリニック

引田 満

各校のエピペン所有者

(令和4年7月現在)

鎌ケ谷小学校	4人	鎌ケ谷中学校	4人
東部小学校	6人	第二中学校	2人
南部小学校	1人	第三中学校	4人
北部小学校	3人	第四中学校	2人
西部小学校	5人	第五中学校	5人
中部小学校	9人		
初富小学校	0人	中学校合計	17人
道野辺小学校	4人		
五本松小学校	4人		
小学校合計	36人	総合計	53人

エピペン講習会風景



五本松小学校 4月7日



第2中学校 6月16日



鎌ヶ谷小学校 9月1日

第4中学校 9月15日



ペットボトルを用いた擬似体験
実物を使用
押し込む感覚
針の出方
薬液噴出の様子
針の長さ
針の格納の様子

